

従業員側ニアリテハ四月二十六日ヨリ約半月ニ渡リ改正規
定ニ依リ作業ニ従業セルカ一部従業員ニアリテハ約四割ノ
減給トナルモノアリ改正規定ハ我國産業界ニ貢献ストノ美
名ニ藉クシテ従業員ノ賃下劣働強化ヲ為スモノニシテ我々
ハ生活ノ安定ヲ期シ得ストナシ協議ノ結果改正規定ヲ変更
セシムルコトトシ總聯合本部ニ交渉方ヲ一任セリ

五月十三日午後七時總聯合本部會長高山久藏外二名日本精
技會品川第一支部長長谷川鶴次郎外三名ハ會社ヲ訪問會社
事務所ニ於テ會社代表者中島勝五郎外三名ト會見改正規定
ノ變更並組合組織ニ關シ種々折衝ノ結果翌十四日午前一時
別記覽書ノ通り協議解決セリ

右及申(通)報候也

エノ給典制度改正ノ趣旨

滿洲軍費ヲ契機トシテ以テ未だ電ノ口清張率着レク殊ニ滿洲口ノ獨立ニ對シ我々
破棄ヲ敢行シ東洋ノ一角ニ孤立無援無往還道ノ立場トナリ爲ニ萬一戰禍ヲ予想
シテノ準備ノ充實ヲ餘儀ナクセリトハ、非特時日年遠行ノ爲ニハ膨大ナル金
ノ準備ノ實行トナレリ、其ノ結果天間ノ電機諸機材製鉄其他軍需ニ關係セル工業
ノ供給ニ乏伴ハス年々戰行ハレタル状況ニ於テハ、此ノ設備ニ關シ一五六年ノ
日對英戦ト稱スル今日ニ於テ各口ハ一戰ヲ計ラントスルノ必要最速早辦以今ヤ
我々口對英戦ヲ最モ影響ヲ受ケル諸機材、電機機製造ノ会社ハ經費ノ削減ヲ
重兵トシ内部ノ整理ニ依リ製造費ノ削減ヲ図ルニ急ニテ昨秋ハ明電會ノ値
下アリ本年二月ニハ日立ノ値下アリ比ノ影響ヲ受ケタル中小工場ハ材料高ノ今
日ニモ拘ラヌ大勢ニ於テハ、新ナク競争力下ヲ爲スノ止ムナキニ至レリ
今ヤ市場ハ激烈ナル電機機材ノ競争ヲ展前ノ居レリ、愈々近キ將來ニ於テ軍手
ノ準備ハ従前ノ平時ニ復セル場合ヲ予想スル時數年前ノ不逞ニ時時々々苦キ經驗
ニ鑑ミハ此處西三全米武カ日産業ニ場ノ拡張立ニ依リ故借セル製造機材力急激
増大シ在給ヲ要ケル道程ニ於テ激烈ナル競争アルハ火ヲ見ヒヨリ明カナリ
當所モ此ノ打撃ヲ受ケルハ勿論ニシテ今ニ於テ之ヲ重リ諸制度ノ改革健全ノ合
理化ヲ實現シ炭然トシテ我々ナル製造業量ヲ保持スルハ勿論進シテ大量生産ニ
依リ未レ可キ経済戰ニ天下無敵ノ勇者ト成リ我々日産業界ノ爲ニ貢献スルヲ要ス
以上ノ目的貫徹ノため、不合理的制度ヲ打破シ新制度ヲ確立シ以テ之ニ備ヘント